

2024年12月1日(日)開催  
第38回 本庄4st6時間耐久カート大会

## 大会規則書

### 総 則

本レースはモータースポーツの楽しさを多くの方に体験して頂くためのレースです、ルールやマナーを遵守することは、社会生活を営むためにも大切な事と考えています。

参加者は、スポーツは『ゲーム』であり『遊び』であるという根本的原点を認識し、心身ともに健康な男女で、勝敗よりも『安全』と『楽しさ』を追求できる方、会話を楽しみ、遊び心を十分に持ち合わせている方に限ります。

この理念を理解しドライビングテクニック、モラル、マナー研鑽の場の提供と親睦を目的として開催します。

人命は何よりも重い、との基本で大会を運営します。

### 第1章 大会規則

本大会規則は何度も読み返し、必ず熟知して下さい。

#### 1-1 参加資格

- ①満18歳未満の者は、親権者の承諾書が必要になります。
- ②参加代表者は、自分の行動は勿論として、自チームの選手・ピット要員・ゲスト・応援団の全員の行動について責任を遵守できる方に限ります。
- ③年齢・性別に関係なく『遊びの精神』を第一義とし、決して怒らない事を遵守できる方に限ります。
- ④常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品な言葉は慎むことのできる方に限ります。
- ⑤故意に他のドライバーの走行を妨害するような走り方をする方は、ご遠慮いただきます。

#### 1-2 参加クラス

- 1 レンタルクラス SOD I (270cc、390cc)
- 2 スポーツカートクラスA 基本的にノーマル無改造車両  
対象エンジン スバルEX21, スバルKX21, ヤマハMZ200, ホンダGX200
- 3 スポーツカートクラスB 2010K-TAIルールのノーマルクラス  
エンジン本体無改造でキャブ, マフラー, クラッチ等は自由  
対象エンジン スバルKX21

#### 1-3 参加受付

特別規則書に準ずる様提出して下さい。

#### 1-4 参加料金

特別規則書に準ずる様提出して下さい。

### 1-5 参加キャンセル方法とキャンセル料

申込施設へ直接か電話にて行う（メール・FAX・郵便は不可）

参加者はレース当日参加しなくとも参加料を支払う義務を負います

- ・開催日含め7日以内（11月24日～当日）のキャンセル料・・・全額
- ・開催日含め14日～8日前（11月17日～11月23日）のキャンセル料・・・半額
- ・エントリー費の返金がある場合は、振込手数料を差引き後、残金を口座へお振込します。

### 1-6 服装

長袖・長ズボン（肌の露出が無い事）、レーシングスーツ又はつなぎ推奨

※風でめくれない様に固定をお願い致します。黒旗対象になる場合もあります。

ヘルメット、グローブは必ず着用してください。

※ヘルメットのアゴ紐を必ず締める事

胸部プロテクターの装着を強く推奨します。

女性、45歳以上の方にネックガードの装着を強く推奨します。首回りの保護に繋がります。

## 第2章 レース規定

### 2-1 競技時間

競技時間は6時間とします。尚、競技中断の場合でも計時は停止しません。

### 2-2 レース中の事故

レース中の事故やカートの故障は全て自分の責任になります。例えばつけられて破損した場合でも自分の責任になります。各自責任を持って走行して下さい。レンタル車両は修理代金が掛かる場合があります。

### 2-3 カート抽選（レンタルクラス）

カート抽選はブリーフィング後、受付順でタブレット端末を使用して抽選を行います。

### 2-4 公式練習兼予選

タイムスケジュールに従って開催されます。 8時40分～9時20分(予定)

公式練習兼予選走行が終了後は、給油作業を行う為速やかにチーム員全員カートから離れること。

### 2-5 グリッド

グリッド順は練習兼予選のタイムでグリッド順を決定致します。

### 2-6 スタート

スタートはグリッドスタート方式。国旗スタートになります。

スポーツカートとレンタルカートのスタートを20秒遅らせてスタートをします。国旗を2回振りスタートします。

国旗1回目：スポーツカートクラスのスタート / 国旗2回目：レンタルクラスのスタート

反則スタートをしたドライバーにはペナルティ、指示された車両はペナルティピットで60秒のピットストップが指示されます。

## 2-7 ドライバー人数・ドライバー交代・ウエイトハンデ

- 1：1チームの参加人数は原則3名以上からとする。
- 2：本大会においてはウエイトハンデを設けるものとします。(レンタルクラスのみ)
- 3：レンタルクラスは全チーム**決勝レース中16回の義務ドライバー交代を定めます。**  
(270cc、390cc)
- 4：女性以外のドライバー平均体重が80キロ以下のチームは、必ず下記の該当するドライバー交代を加えた回数を最低ピットイン回数とします。

※体重測定は装備品(ヘルメット、グローブ等)も装着した状態で行います。

80キロ以上	0回		
73.0～79.9キロ	1回	60.0～66.9キロ	3回
67.0～72.9キロ	2回	59.9キロ以下	4回

- 5：ドライバー交代の規定の回数を行わなかったチームは、チェッカーフラッグを受けた周回数より1回につき10週の減算とします。
- 6：女性はウエイトの計測が免除となります。
- 7：**ドライバー交代・給油のチェックシートは、カートから降りたドライバーが時間の記入とサインを即行う事。(後からの記入は全て無効とする)**
- 8：**上位入賞チーム(各クラス1位～3位)は、レース終了後にドライバー交代回数の再確認を行う。**
- 9：車両重量(持ち込み車両)

持ち込み車両は参加するドライバー全員の平均体重に車両重量を加えた

Aクラス 145kg Bクラス 155kg

以上とします。重量確認計測はレース終了後入賞チームのみ行います。

女性においては重量計測を免除し一律65kgとして加算します。(但し2名まで)

ウエイトを積載する場合はボルトで完全に固定し、脱落の無いようにお願いします。

**レースがスタートしてから10分間と、レース終了時刻の10分前からチェッカーを受けるまでの間はドライバー交代が出来ません。ピットロードがクローズとなります。**

**10. ドライバー交代後は、ブリジストンゲートを必ず1周以上通過する事。**

## 2-8 レースの中断

- ① 天候その他の理由でレースを中断する場合は、赤旗をメインポスト上で掲示します。  
その場合、レース中断の合図と同時に全車両は直ちに徐行し、オフィシャルの指示に従って指示された場所まで進んでください。この間の追い越しは禁止します。
- ② レースの3分の2が経過し再スタートしない場合は、レース終了とする場合があります。
- ③ レース中断～再スタートまでの間、指示があるまで車両に手を触れることは禁止します。
- ④ **悪天候やその他の原因でレースが途中で中断した場合のドライバー交代回数に関して**  
**レースが中断しそのまま終了した場合、残りの規定回数によるペナルティーは無しとする。**  
**レースが再開した場合、残り時間を考慮して規定回数を下記の通り減算とする。**  
**(中断時間20分につき1回減算 例：1時間中断した場合3回減算)**

## 2-9 反則行為

レース競技続行が危険とみなされるドライバーは、競技長はピットインを命じるか、失格とすることができます。

## 2-10 ピットイン及びピットアウト

- ① ピットインする車両は、片手を垂直に上げ、後続車両に対して合図を送りピットインします。
- ② ピットロード内の速度は歩行速度程度とし、定められた場所で一時停止します。
- ③ ドライバー交代の際はエンジンを止めず、充分注意しながら交代する。  
(右側のアクセルワイヤーに注意する。)
- ④ ピットアウトの際は、安全を確認し片手を垂直に上げコースインします。走行車両がある場合は充分注意しながらコースインして下さい。
- ⑤ 参加ドライバーは走行時間を最低40分以上走行して下さい。
- ⑥ **ピットロードは徐行し一時停止場所を設ける。一時停止をしなかった場合には、ピットスルーペナルティーを与える。ガードレールへの接触、スピンをした場合も同様とする。**  
尚、プッシングカートで救助されている場合は除く。
- ⑦ **ピット内は、徐行とし直ぐに停止出来る速度で走行する事。**

## 2-11 コース上での停止

- ①コース内でスピン等により停止した場合、後方車両に合図し安全にレースに戻って下さい。
- ②トラブル等によりスローダウンする場合には、片手を垂直に上げて安全な場所に停止すること。
- ③トラブル等により再スタートできない場合は、両手を大きく上げオフィシャルにアピールをし助けを求めてください。

## 2-12 車両回収及びセーフティカー（SC）導入について

レース中の事故、トラブル等により走行不能になった車両はメインポストでSCボードと黄旗を出します。(全ポスト黄旗振動)

**SCボードの前を1度でも通過した車両はレース再スタートまではピットイン禁止です。**

セーフティカーのコース走行中は追い越し禁止となります。セーフティカー走行中にピットからコースに入る際は、オフィシャルの指示のもとにコースインを行うこと。

なお、先頭のセーフティカーが第2ヘアピンを過ぎていた場合には、スタッフの誘導のもと隊列の最後尾に付くこととする。

セーフティカー先導中、車両回収車がカートを回収に入る。

車両回収後、セーフティカーがコースアウトし、

メインポストで緑旗が振られたらレース再スタートになります。

緑旗で再スタート後、最後尾のカートがメインポストを過ぎたらコースinオープンとする。

**レース再スタート時、セーフティカーがピットに入った周と同時にピットインする事は禁止です。**

※事故車両が多い場合の回収の順番はメインポストより近い順とします。

## 2-13 プッシングカート導入について

- ①コースアウトやガス欠、チェーン切れの車両に対して、プッシングカートを導入することがあります。ドライバーは安全な位置に車両を移動して下さい。
- ②動けなくなった車両はコントロールタワーやポストに向けて手を高く振って助けを求める意思表示をして下さい。
- ③プッシングカートが到着してからドライバーはカートに乗り、そのカートをプッシングカートが押してピットに戻ります。
- ④プッシングカートにカートをぶついたり、近づきすぎないようにお願いします。

## 2-14 レース中の車両修理、交換

レース中の車両修理は、所定のピットで大会整備委員が行います。車両修理が複数の修理順はピットに回収された順とする。又、修理不能及び修理に時間を要するカートについては予備のカートと交換します。

**※予備のカートが無い場合には、車両修理が終わるまでお待ち頂く事となります。**

コースアウト、縁石乗り上げ、他車への接触等はチェーン外れなどカート故障の原因となります。自走が出来る場合のカート交換は、ドライバー交代エリアで1度ドライバー交代してからカート交換すること。

**※カートを修理中の場合は、チーム員の方(1名以上)が必ず修理作業に立ち会う事とする。**

**整備スタッフに暴言や恫喝を行った場合、即時の大会記録の抹消、及び即時退場とさせていただきます。**

## 2-15 タイヤ

レンタルクラス SODI、DUROタイヤ（当社指定）

持ち込みクラスBS：YDS（HF）・DANLOP：DFK2/DRK-SP：

ADVAN：ED・UNILLI

また持ち込み車両のみ雨が降った場合、レインタイヤ 銘柄指定無し。使用は可とする。

## 2-16 コース外走行

コースをショートカットした場合、ペナルティが課されます。

その場合、対象車両には黒旗と車番を掲示後、ペナルティピットにて60秒停止します。

## 2-17 ゴール

- ①規定されたレース時間が経過後、トップの車両がゴールラインを通過した時点でチェッカーフラッグが出されレース終了となります。
- ② 順位は、周回数とゴールラインの通過順序によって決定します。
- ③ ダブルチェッカー車には腕立て伏せ10回のペナルティが課されます。

## 2-18 給油

- ① スタート時の給油はスポーツカートクラスA（4ℓ）クラスB（2ℓ）
- ② 1回のピットインで給油出来る量 スポーツカートクラス（2ℓ）
- ③ レンタルクラスのSODI270cc、SODI390cc、は大会中給油回数は3回が義務になります。
- ④ レース開始より「1時間30分～2時間10分経過まで」の40分間 1回目  
レース開始より「3時間00分～3時間40分経過まで」の40分間 2回目  
レース開始より「4時間30分～5時間10分経過まで」の40分間 3回目

レンタルクラス 180秒 スタッフが給油を行います。 給油回数3回

スポーツカートクラス 180秒 各参加者の方が給油を行います。給油回数制限無し。

給油所に入れるカートは、レンタル・スポーツカート含め5台までになります。

給油所に5台カートが入っている場合には、ピットスルーもしくはドライバー交代エリアにてドライバー交代のみを行い、コースに復帰しなければならない。

**（スポーツカートクラスの方）**

**レースがスタートしてから10分間と、レース終了時刻の10分前からチェッカーを受けるまでの間は給油が出来ません。ピットロードがクローズとなります。**

- ⑤ 各クラスとも、給油場所では必ずドライバー交代をしなければならない。

- ⑥ **ドライバー交代・給油のチェックシートは、カートから降りたドライバーが時間の記入とサインを即行う事。(後からの記入は全て無効とする)**
- ⑦ 規定の時間に給油を行わなかったチームは、チェッカーフラッグを受けた周回数より1回につき10週の減算とします
- ⑧ **悪天候やその他の原因でレースが途中で中断した場合のドライバー交代回数に関してレースが中断しそのまま終了した場合、残りの規定回数によるペナルティーは無しとする。レースが再開した場合、残り時間を考慮して規定回数を下記の通り減算とする。  
(中断時間20分につき1回減算 例：1時間中断した場合3回減算)**
- ⑨ **給油後は、ブリジストンゲートを必ず1周以上通過する事。**

## 2-19 リタイヤ

受付に申し付け下さい。

## 2-20 その他の注意事項、罰則

レースの総則を十分にご理解ください。プッシング・ブロッキング及び無為な衝突などの行為は、参加しているドライバーのみならず観戦している方々にも大変不愉快な行為・光景に写ります。これらの行為に対して主催者は厳しくペナルティを取ります。又、不平や不満を決してヘルメット・グローブ・マシン・時として仲間につけないでください。全ての責任は自分にあること、力量不足を悔いてください。

本規則に対する罰則適否は、大会委員会が行います。

違反の内容に応じて、注意・ピットストップ・周回数の減算・失格・出場停止・その他の罰則が適用されます。

- ① フラッグ及びオフィシャルの指示には必ず従ってください。
- ② 黒旗無視には無視した周回数分を減算します。
- ③ 黄旗からトラブルがある場所まで注意して走行。黄旗後の緑旗は出ません。
- ④ 故意によるプッシング、幅寄せ、進路妨害を禁止します。
- ⑤ 酒、薬物を服用中の方、著しく運営を妨げる方は失格とします。
- ⑥ その他の危険行為を禁止します。
- ⑦ ドライバーの技量による危険行為に関して【黒／車番掲示】によって指示され、ピットインペナルティ60秒が義務づけられます。尚この指示に従わない場合失格とします。
- ⑧ **レンタルカートクラスは、タイヤのエア調整・工具を使うその他の作業は、一切禁止とする。**

## 2-21 抗議

- ① ドライバーはレース結果について、レース終了から30分以内に抗議を文章にて出す事ができます。その際、申請料20,000円を添えて受付までお持ち下さい。レンタル車両についての抗議は受け付けません。
- ② 大会審査委員会の裁定結果は、関係当事者のみに口頭にて通知されます。
- ③ 裁定に対して一切の抗議は受け付けません。

## 2-22 ピットの使用

- ① ピット内は禁煙です。定められた場所以外では喫煙しないでください。
- ② ピットには数に限りがありますので、ドライバー交代などで使用した後はすみやかにピットから離れてください。



③ピットロードはレーススタート後10分、ゴール前10分以外はサインボード係員以外立入り禁止です。サインボードは各チームで用意してください。

## 2-22 オフィシャルの信号

競技中のドライバーに対する指示は、次の旗もしくは信号灯が使用されます。

赤旗： レース中止、全てのカートは競争を止め安全を確認しながら即時ピットインする

黄旗： トラブルがある場所まで注意して走行。

黒旗： 走行中止、指示された番号のカートは直ちにピットイン。

緑旗： レース再開

白旗： **プッシングカート導入時**

チェッカー旗： レース終了。

## 2-23 損傷の責任

①競技期間中に起きたドライバー・ピットクルー・ヘルパーの損傷は自らが負うものとします。

②レース中の車両故障が発生した場合、全額チーム負担となります。

## 2-24 大会役員の責任

大会役員は職務に最善を尽くします。事故発生において、主催者、サーキットオーナー、大会役員は損害など一切の弁償の義務を免除されています。

## 2-25 スポーツカートクラス参加者の方

レンタル車両の追い越し時は、注意して下さい。お互いを思いやる走行をお願いします。

## 2-26 ペナルティー

- ・違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポストから提示される。  
当該車両はピットに戻り、オフィシャルの指示に従うこと。
- ・なお、下記はペナルティー一覧の例とする。  
レース中の危険行為・マナー違反（**不必要な威嚇行為や露骨な挑発行為等**）  
他車への激しい追突など ⇒ ピットスルーもしくはピットストップ（程度に応じて1分～）
- ・シートポジションパットをコース上に落とした場合 ⇒ ピットスルー  
（ドライバー交代、給油不可）
- ・ピットロード内でのガードレールへの接触、スピンをした場合 ⇒ ピットスルー  
（ドライバー交代、給油不可）
- ・**暴言・恫喝**  
**運営スタッフ及びオフィシャル等に暴言や恫喝を行った場合、即時の大会記録の抹消、及び即時退場とさせていただきます。**
- ・服装の着用違反 ⇒ 1回目（嚴重注意）2回目以降ピットスルー（ドライバー交代、給油不可）
- ・ヘルメットのアゴ紐未装着 ⇒ ピットスルー（ドライバー交代、給油不可）
- ・給油時間終了までに給油を行わなかった場合 ⇒ 6分間のピットストップ（レンタルクラス）

## 2-27 クラッシュ共済

当サーキットの施設(クラッシュパッドカバー・ガードレール等)を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。そのための保険としてチームごとに任意でクラッシュ共済に加入することができる。1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。